

第3部「詳報・建設トップランナーフォーラム」

総合建設業・荒正（山形県
山形市）の須田和雄氏は、本
社屋を有効活用して介護事業
に進出した。同社は2004
年に本社社屋をコンバージョ
ンして05年6月に「ほつとi
n福寿草」を開業。各施設の
定員は25人。1階をティサー
ビス、2・3階をショートス
テイとし、社員を新規に25人
採用した。地元食材の手作り
料理を提供したり、日帰り温
泉を経営している関連会社が
源泉を運搬するなど差別化戦
略を展開している。投資額は

◆ティーサービス・ショートス 約2億5000万円。
ティの運営 今後は、現施設の隣

今後は、現施設の隣に建設
予定2億5000万円

総合建設業・荒正（山形県山形市）の須田和雄氏は、本社屋を有効活用して介護事業に進出した。同社は2004年に本社社屋をコンバージョンして05年6月に「ほっとin福寿草」を開業。各施設の定員は25人。1階をティザービス、2・3階をショートステイとし、社員を新規に25人採用した。地元食材の手作り料理を提供したり、日帰り温泉を経営している関連会社が源泉を運搬するなど差別化戦略を展開している。投資額は中（12月開業予定）の高齢者専用賃貸住宅との相乗効果で利用率を高めるほか、ケアマネセンター、訪問介護事業の立ち上げも検討している。これから課題は、法改正への対応と優秀な社員の確保を挙げた。

◆温泉掘削中に掘り当てた天然水で新事業を展開

建築板金業・ヤスオカ（鳥取県鳥取市）の安岡大次氏は、温泉と天然水で展開する新事業を紹介した。「本業が順調なうちに」と1997年9月

に温泉ボーリングを申請した。250㍍掘って水温25度の水が湧出し、1300㍑で温泉が噴出、2003年12月には源泉掛け流しの薬湯温泉「宝喜温泉館」をオープンした。投資額は約2億円。

温泉で使うことを想定してボーリングした水の成分は、市販の水より優れていたため、事業費1億円を投じ天然水施設を整備。「鳥取因幡宝喜の水」として大手スーパーに卸した。予想に反して売れなかつたが、気持ちを切り替え、mondセレクションに出品したところ、今度は思いもかけず最高金賞を受賞した。県内では初めての快挙となり、流れが劇的に変わった。

◆水環境事業で地域貢献

総合建設業・小柳建設（新潟県三条市）の小柳直亮氏は、20年間取り組んできた内水面

モンドセレクションに「宝喜の水」を出品、最高金賞受賞後、「流れが劇的に変わった」とヤスオカ（鳥取県）の安岡大次氏

しいプールとなり利用者がから好評を得て いる。さまざまな事業への取り組みを通じて「水」をきれいにする使命を果たす。

技術者を擁し、大手に負けない技術力が強みだ。

地域での認知度を高めるため、協業4社でニュースレターを作り1200通を発送。約3億円の受注に結びつけた。ターゲットを個人オーナーに絞り込み、丁寧に技術を提案する手法が功を奏した。

「『ネット』は、高度な技術を持つ技術者を営業マンに変えるノウハウを提供する会社だ」と胸を張った。

スクール教育複合事業を説明した。環境省発注の2005年度皇居外苑千鳥ヶ淵浚渫工事では、発注者と協議後、自社で開発した高濃度浚渫装置（泥土吸引圧送工法）を使うことを決めた。水底の泥を乱さず高濃度（含泥率80%）の2カ所のスクールで使用。そのまま吸引しパイプラインで圧送、濁水や臭気も発生させず、景観にも配慮しゼロエミッショングを達成した。教育複合事業では、直接塩素剤を使わないとブル水を開発し、今年6月に相次いでオープンさせた。や肌、髪に優

煙突）を手掛ける松島工業（富山県高岡市）の松嶋浩二氏は、中規模ビルリフォームのノウハウ提供事業「技ネット」を発表した。2004年度に新分野進出モデル構築支援事業に採択、05年3月に技ネットを設立した。「技ネット」は加盟8社、約100人の技

人今回紹介する企業

荒正(山形県)／ヤスオカ(鳥取県)／小柳建設(新潟県)
／松島工業(富山県)

技術者を営業マンに変える

技
ネ
ッ
ト

日本には建設業が必要です